

京町家のお夜食カフェ

害獣なんて呼ばせない！

山のめぐみとして活かす猟師の話



京都市西京区、京都盆地西縁の小塩山（おじおやま）の麓（ふもと）に広がる大原野古くから狩り場として知られ、柿や筍の産地としても有名なこの地も近年、野生動物の被害が深刻になっています。

以前は趣味で狩りをするハンターや生業として狩りをする猟師、罾専門のワナ師、炭焼き職人、農家など様々な人が山とつながりを持ち維持、管理されてきました。

そして俄かに狩りガールや漫画にもなるなど狩猟ブームが起きている最中、実際のところどうなの？という近況や害獣駆除の問題点など猟師さんのホンネをお聞きします。



川原 浩敦紀

(かわはらひろあき)

幼少から自然と触れ合いながら育ち、猟師として20年以上のキャリアを持つ。2013年同じ猟師でもある垣内忠正氏とともに京丹波自然工房を立ち上げ野生肉を食肉として普及させることに尽力する。現在は美山町の「猟師の家」にて田舎暮らしの魅力を伝えながら猟師の学校の講師を勤めるなど猟師の人材育成にも力を注いでいる。



ちーびず女子のイチオシカフェ

今回のお夜食！



Photography by nest

日時

10月31日(金) 18:00~20:00

参加費

2,500円(ソーセージ、パン、スープ付き)

場所

カスタネット町家サロン
京都市下京区岩上通綾小路下る雁金町401

定員

20名

<タイムスケジュール>

- 18:00 猟師、川原浩敦紀さんのおはなし『山の現状と猟師のホンネ』
- 18:30 本日のメニュー
無添加ジビエソーセージセット(ハム工房京都)
- 19:30 交流会、感想のシェア
- 20:00 解散

ハム工房京都

京都市東山にてアレルギーの子どもでも安心して食べられるようにと無添加のソーセージ・ハム作りはじめる。京丹波自然工房の野生肉(ジビエ)を使ったジビエソーセージも販売中。

～今晚のメニュー～
ハム工房京都の
無添加ジビエソーセージ3種盛り+スープ、
パンのセット

お申込み・お問合わせ FAXまたはHPにて受け付けています。

FAX: 075-693-4625(裏面のお申込欄にご記入ください) URL: <http://www.castanet.co.jp>(京都ちーびず申込みフォームより)

主催: 株式会社カスタネット 社会貢献室 京都ちーびず推進担当 E-mail: abc@castanet.co.jp

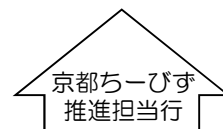
※京都府では、新しい仕事や働き方で継続的な地域づくりを目指す取り組み「京都地域カビジネス(愛称: 京都ちーびず)」を応援しています。ちーび(地元ガイドの交流まちあるき)、ちーびずマルシェ(交流共同販売会)、ちーびず女子のイチオシカフェ(交流カフェ)は、各地のちーびずを応援する民間と京都府との共同事業です。

<問い合わせ先: 京都府地域カビジネス課(電話075-414-4865)>このイベントは京都府緊急雇用創出事業・起業支援型地域雇用創出事業の一環です。

お申し込み方法は、HPお申し込みフォームまたはFAXでお申し込みください。
HPお申し込みフォームは、下記、URLより「京都ちびず」をクリックして、申し込みフォームにご入力ください。

<http://www.castanet.co.jp>

FAXは、下記、申し込み欄に必要事項をご記入のうえ、ご送信ください。



FAX : 075-693-4625

申込締切：10月28日

お申し込み 【 獣害なんて呼ばせない！山のめぐみとして活かす猟師の話 】

参加お申し込み			
フリガナ		男・女	TEL. ()
お名前(フルネーム)			FAX. ()
ご住所	〒	緊急連絡先 携帯 勤務先 その他 ()	
会社名/団体名		Eメールアドレス (※PCメールで返信させていただきますので、必ずご記入ください)	

【個人情報について】

ご記入いただきました個人情報は、本イベントの運営の他、今後開催する京都ちびずイベント情報等に関するご案内のために利用させていただきます。
上記目的以外で許可なく第三者への提供はいたしません。

【会場・地図】



◆住所
京都市下京区岩上通綾小路下る雁金町401

◆交通機関
阪急京都線「大宮」駅より徒歩5分

Castanet

株式会社カスナネット

〒601-8037 京都市南区東九条西河辺町33番地
TEL 075(681)9100 FAX 075(693)4625

<http://www.castanet.co.jp>
E-mail info@castanet.co.jp

弊社は、京都府の委託事業「京都ちびず推進人づくり事業」を受け、京都ちびず団体の事業活動やサービス・商品について、市場や販路拡大につなげるプロモーションづくりを目的として、企業のCSR活動とタイアップすることで、相乗効果を引き出す取り組みを行っています。